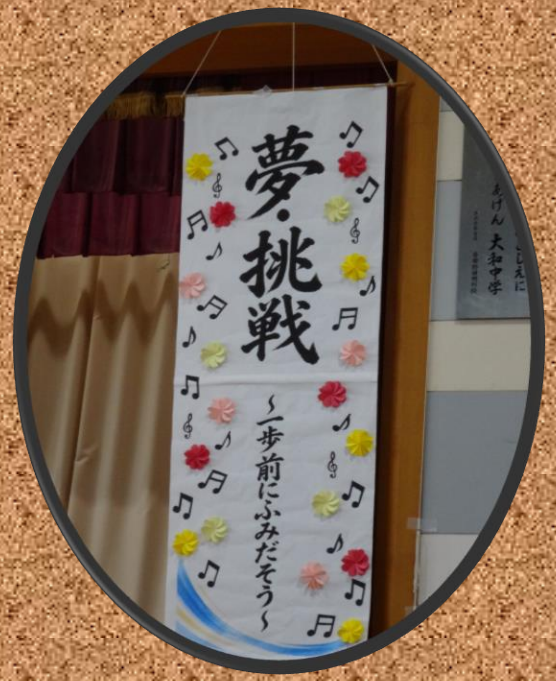














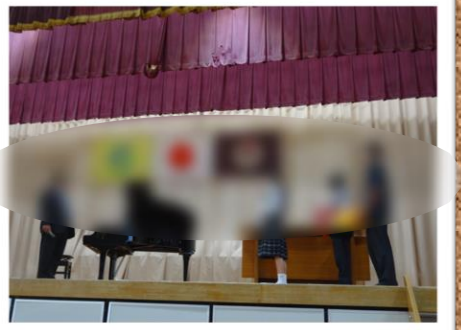












徳永義昭さん
講演会

感想紹介

夢は持っていないけど、目標は持っている。テストで学年順位10位以内という目標のために週2で自習をしている。いつかその目標を達成したい。徳永さんの話を聴いて、『報われるまで努力しよう』と思った。

これからは何事にも挑戦し努力しようと思った。幸せでいることは家族や友達のおかげだとわかったので、みんなを大切にして接していきたい。

私も夢に向かって突き進みたいと思った。徳永さんみたいな大スターになりたい。前に出る勇気を知った。これを生かして未来に突き進みたい。

『床の上は歩きやすい。砂浜は歩きにくい。しかし後ろを振り返ると砂浜には足跡が残っている)という言葉が心に残った。

『努力をするから報われるというご褒美がある」『自分が楽しくて夢中なものを夢にする』『自分だけのためではなく、誰かのためだったり、誰かと約束するから頑張れる』と聞いて、自分の夢のために何をすればいいか分かりがんばろうと思った。

私はチャレンジすることが少なく周りに合わせていたので徳永さんの一つ一つの言葉がささり、一度だけでもチャレンジしてみようと思った。自分の好きなことを見つけ目標を立てられるよう頑張る。

私はチャレンジや挑戦がすごく苦手なので徳永さんの話がささった。『一つ挑戦がどんどん広がっていくんだ』と感じた。

自分の夢を叶えるには自分で夢をつかみに行くことが大事と分かった。不安や諦めそうになったこともあるが、諦めずにこれからもがんばろうと思った。

私はチャレンジすることが少なく周りに合わせていたので徳永さんの一つ一つの言葉がささり、一度だけでもチャレンジしてみようと思った。自分の好きなことを見つけ目標を立てられるよう頑張る。

夢に向かって一生懸命頑張る姿がとてもかっこよくて、自分の何か1つのことに報われるまで努力してたくさんの人に夢をあたえられるようになりたいと思った。

私はチャレンジすることが少なく周りに合わせていたので徳永さんの一つ一つの言葉がささり、一度だけでもチャレンジしてみようと思った。自分の好きなことを見つけ目標を立てられるよう頑張る。

1日のスケジュールをたて、志望校合格に向け頑張りたい。

夢を持つのは遅くても必死に頑張れば夢はかなうんだと感じた。夢のサッカー選手とサッカー関係の仕事に就くことなので、諦めずに必死にサッカーを頑張りたい。諦めない徳永さんが憧れ。

徳永さんは長い時間をかけて自分の夢を叶えていてかっこいいと思った。私は将来の夢があり『私には無理だろう』と自信がなかったけど、徳永さんの話や今まで頑張ってきた実力をみて、私も諦めないで夢が叶うまでたくさん努力をしてかっこいい大人になりたいと思った。

『夢にたどり着くまでの過程が大事』という言葉がすごく心に残った。まだ夢を見つけていないが、今は『過程』を歩んでいる最中ならもっと頑張ろうと思うことができた。

将来の夢は中学生や高校生の時にきめるものだと思っていた。話を聴いてびっくりした。52歳という年で夢を持ち実現させるのはかっこよく素晴らしいと思った。

私はチャレンジすることが少なく周りに合わせていたので徳永さんの一つ一つの言葉がささり、一度だけでもチャレンジしてみようと思った。自分の好きなことを見つけ目標を立てられるよう頑張る。

私はチャレンジすることが少なく周りに合わせていたので徳永さんの一つ一つの言葉がささり、一度だけでもチャレンジしてみようと思った。自分の好きなことを見つけ目標を立てられるよう頑張る。

夢は全国ベスト4になること。今、諦めようとしていた時期だったが徳永さんのおかげであきらめる気持ちはなくなった。いろいろなことに挑戦して目標を達成させたい。

私は人前に立ち何かをすることは得意でない。夢中になれるものもない。焦らず自分の本当にしたいことを見つけていこうと改めて感じた。

私は失敗が怖く、学校などでは目立ったことをするのが嫌い。つまり多くなことへの挑戦がすごく苦手。しかし話を聴いて努力でつかんだ夢にはすごく心にくるものがあった。
失敗を恐れたりせず一度努力してみようと思った。

私はまずは行動してみることが大切と思った。確かに自分が頃から好きなことなら毎日続けたいし、ほかのことにも挑戦してみたいという気持ちが出てくるかもしれない。その大好きなことをみつけられるようにたくさん挑戦していきたい。

努力しても優勝できないと思っていたが、優勝するまで努力しようと思った。

内気な性格で何かにチャレンジするときはいつも躊躇したり怖かったりする。しかし一歩踏み出す努力をしなければ何も変わらないことがわかった。

自分には夢がなくてどうしようと今までもやもやしていたが、『夢を探すことは難しいこと」という回答を聴いてすごく納得した。夢はいつからでも遅くないと改めて気づかされた。

一番心に残っているのは、妻のピアノスクールの子どもたちと約束をしたから、妻の支えがあったからとおっしゃっていたこと。私も今、全国制覇という目標に向かって挑戦している。話を聴いて今私が挑戦できていることに対して、家族やチームの仲間などささえてもらっている人達に感謝の気持ちをもって挑んでいきたいと思った。

心に残った言葉が2つある。1つは、『一歩前へ』。私はいつもあと一歩の勇気がなくて逃げてしまうことがあったけど諦めないで一歩前へ進もうと思った。2つめは、『報われるまで努力する」。これからの人生をに逃げないで最後まで頑張ろうと思った。

話を聴いて一番心に残った言葉は『できるかできないかではなく、やるかやらないか』という言葉。一歩前に踏み出してみると新しい発見がみつかると信じながら生きていこうと思った。

夢を追い続けることはとても大切だと思った。でも一人の夢だとすぐやめてしまうかもしれない。誰かのためにするというところが一番心に残った。